

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		教育センター運営費 [スクールカウンセラー配置事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業番号	16			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育指導		課		指導		係	課長名	佐藤 洋士		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実							総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	主に市立小・中学校に在籍する児童生徒及びその保護者				児童生徒数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
2 指標の推移	主に市立小・中学校に在籍する児童生徒及びその保護者に対する適切な助言を行うためには、心理療法士等の専門的な知識を有する人材が必須となっている。				スクールカウンセラーの配置校数(サポートルーム含む)						
	→										
	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	様々な問題を抱える児童生徒及びその保護者等の相談を受け、適切なカウンセリングを実施することで、問題解決を図る取組を行っている。また、担任や生活指導担当の教員の相談にも適切に対応している。				相談件数						
3 経費	③				→						
			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	6,612	6,562	6,556					
4 環境変化等	成果指標	②の数値	校			16 (サ°-ルーム含む)					
	目標	②の目標値									
	目標値設定の考え方										
	活動指標	③の数値	件	7,915	8,604	7,872					
3 経費	事業費(実績)		円	8,467,987	10,247,367	9,727,257	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	8,467,987	10,247,367	9,727,257					
		特定財源	円								
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.02	0.02	0.02					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	165,060	164,880	166,200					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	8,633,047	10,412,247	9,893,457						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成8 年度								
	(2) 環境の変化		地域性を問わず、家庭や自身に問題を抱える児童生徒が増加傾向にあるが、31年度は相談件数が減少した。								

事業名称	教育センター運営費 [スクールカウンセラー配置事業]				
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係	課長名 佐藤 洋士

5
市民等の意見

この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☐ 取り組んだ
☒ 取り組まない

取組手法：

【取組手法の種類】

①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成

⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

7
課題

(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）

専門的な知識を有する人材の確保が困難である。
毎年、退職者が多く、同一のカウンセラーによる継続的な支援が難しい。

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。

市内全小・中学校に配置した。

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

子育て支援担当、生活福祉担当や児童相談所等の外部機関と情報の共有化を図り、連携を強化することで、問題を抱える児童生徒及びその保護者への支援体制を充実させる。
継続的な支援体制を整えるため、同学校区の小中学校には同一のカウンセラーを配置できるよう配慮する。

8

施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名： 学校教育の充実

☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止

【取組内容】

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等

専門的な知識を有する人材の確保。